

調査票記入要領

● 調査対象となる学校

各都道府県知事部局の所轄する私立専修学校専門課程

※修学支援新制度の機関要件確認校以外の学校も対象となります。

● 調査票入力にあたっての留意点

(入力にあたっては調査票の「記載例」シートも参考にしてください。)

💡 調査のポイント 💡

- ・令和5年度の専門課程第1学年入学生にかかる1人当たりの生徒納付金額(年額)を記入。
- ・学科別に学則上の金額や入学定員等を記入。
- ・同学科内で専攻・コースによって納付額が違う場合は、同額の専攻・コース別に記入。ただし昼間・夜間や昼夜開講制の場合は同額であっても別々に記入。

(本調査の対象)

- ・専門課程の学科のみが本調査の対象です。
- ・外国人留学生しか在籍できないことを学則等で明らかにしている学科や、令和5年度に募集停止・廃止の学科など、修学支援新制度の支援対象者が入学できない学科等については記入不要です。
- ・編入学生や科目等履修生に係る納付金も調査対象外です。
- ・令和5年度時点における状況について御記入ください。
- ・令和5年度第1学年への入学生に係る生徒1人当たりの生徒納付金額(年額)を御記入ください。(今年度入学者が0人の学科についても御記入ください。)
- ・入学金、授業料等については、学則上の金額を御記入ください。

(学科、専攻・コース、昼夜別等の考え方)

- ・学科(昼夜等)別に御記入ください。ただし、学科内で納付金額が異なる専攻・コースがある場合(春季／秋季の別を含む)は、納付金額が同額の専攻・コース別に御記入ください。なお、専攻・コース名の記入は不要です。
- ・通信制学科についても、学科別に御記入ください。
- ・専攻・コース内において、生徒ごとに納付金額が異なる場合(選択する講義数により納付金額が異なる場合等)は、納付金合計額が最も高い学生の納付金額(実際に納入のあった金額)を御記入ください。
- ・再入学生(※)と一般の入学者で納付金額に差異がある場合は、一般の入学者の納付金を御記入ください。

※ 以前に卒業した専門学校に再度入学する者で、以前に修了した学科以外の学科に在籍する者

- ・昼間と夜間（昼夜開講制の学科の場合は、「昼間主コース」と「夜間主コース」）で納付金額に差異がない場合であっても、各々別に御記入ください。

※ 昼夜開講制は、同一学科において昼間及び夜間の双方において授業を行うことを指し、例えば、夜間学科を置く専修学校が、当該夜間学科のカリキュラムによる授業を一部昼間において開講する場合等で、学則において規定されているものが該当します。

- ・「昼夜等」において「その他」を選択した場合はその具体的な授業時間帯を備考欄に御記入ください。

（納付額の記入方法）

- ・入学検定料は、令和5年度入学生のための入学試験にかかる学科、専攻・コースの入学検定料の金額を御記入ください。なお、複数の試験方式が存在し、検定料が異なる場合は最も金額の高い入試方式について御記入ください。
- ・奨学金制度により金額の違いが生じる場合についてはコース分けする必要はありません。
- ・授業料等減免制度がある場合であっても減免前の金額を御記入ください。
- ・学生自治体会費、後援会費、災害障害保険料等の学校の収入にならないものは除外してください。また、寮費も除外してください。

（定員の記入方法）

- ・入学定員は、学科、専攻・コースごとに、令和5年度の学則上の入学定員別に御記入ください。上記区分ごとの入学定員が存在しない場合は、「現員比率」「事業計画等で計画した人数」「過去数年間の平均」等の適切な値により按分を行った定員数を御記入ください。ただし、同一学科内で納付金額が異なる専攻・コースがある場合は、納付金額が同額の専攻・コース別に按分してください（記入例を参照）。

● 各学校の提出方法

- ・作成したファイルの名称は以下のとおり変更してください。

「学校コード（※）」＋「学校名」＋「①調査票（学校用）.xlsx」

（例）「H1011*****〇〇専門学校①調査票（学校用）.xlsx」

（※）学校コードは学校基本調査等に用いる13桁のコードです。

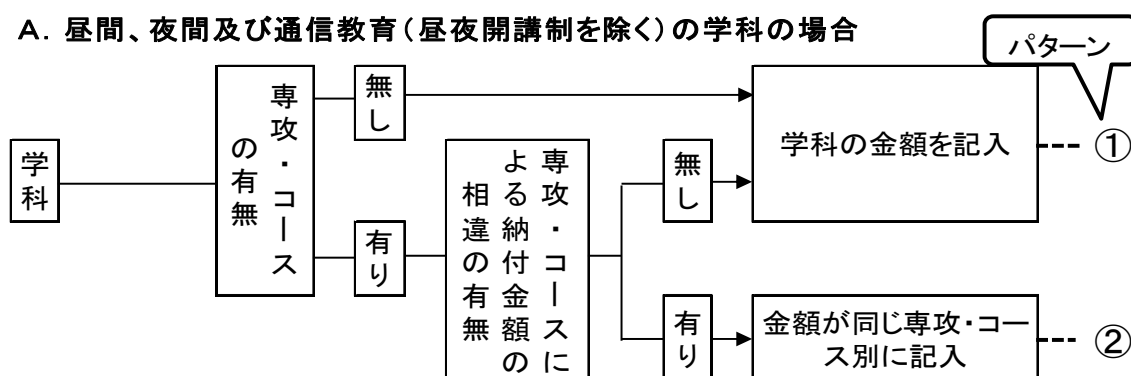
不明な場合は以下の「学校コード検索サイト」で検索できます。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

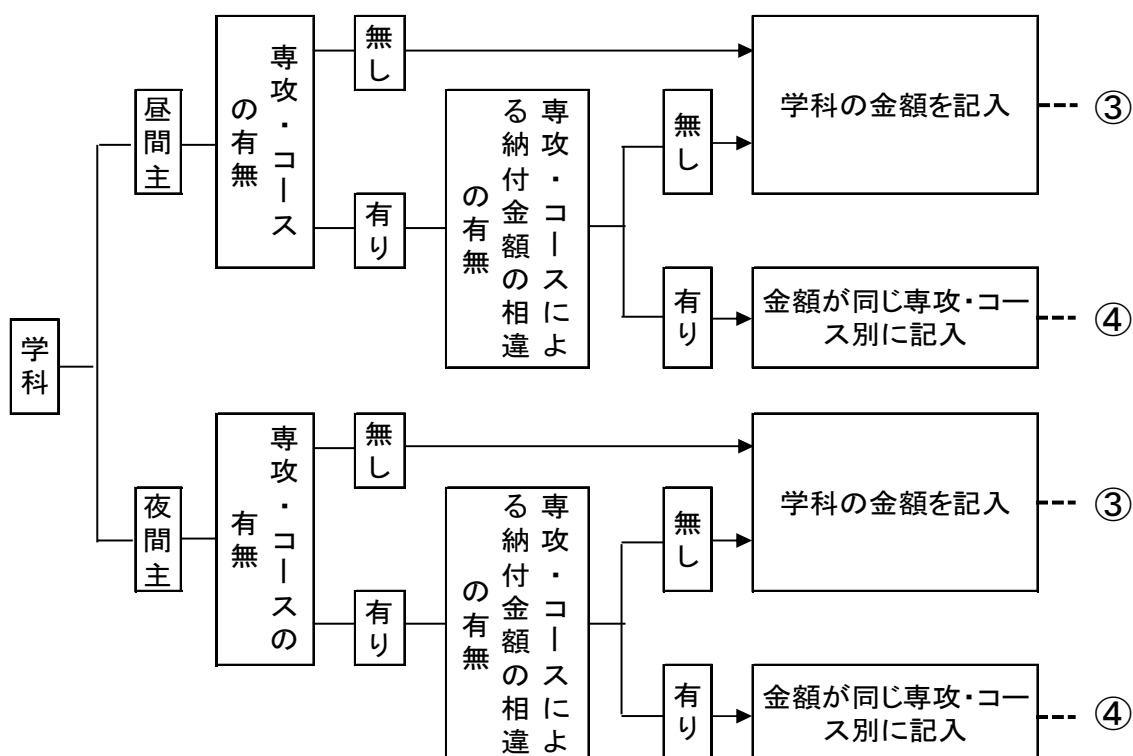
- ・提出先 所轄の都道府県

フローチャート

A. 昼間、夜間及び通信教育（昼夜開講制を除く）の学科の場合



B. 昼夜開講制の学科の場合

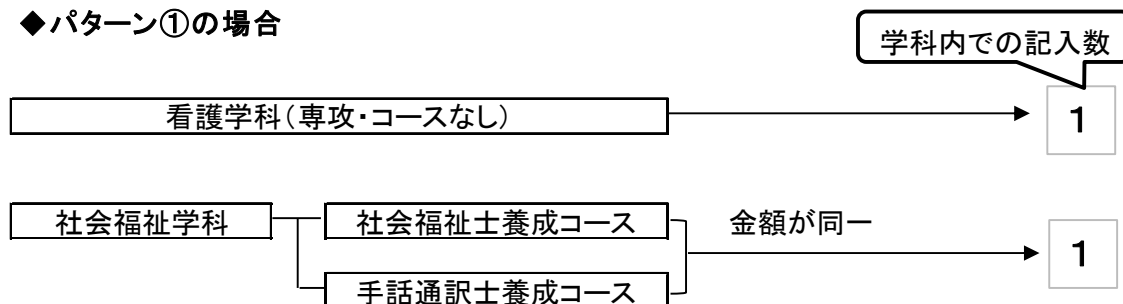


※昼夜開講制の場合は、1つの学科を、まず昼間主と夜間主とに区分した上で、さらに専攻・コースの有無及び納付金額の相違によって区分します。したがって、昼間主と夜間主で納付金額が同一であっても、それぞれ分けて記入することになります。

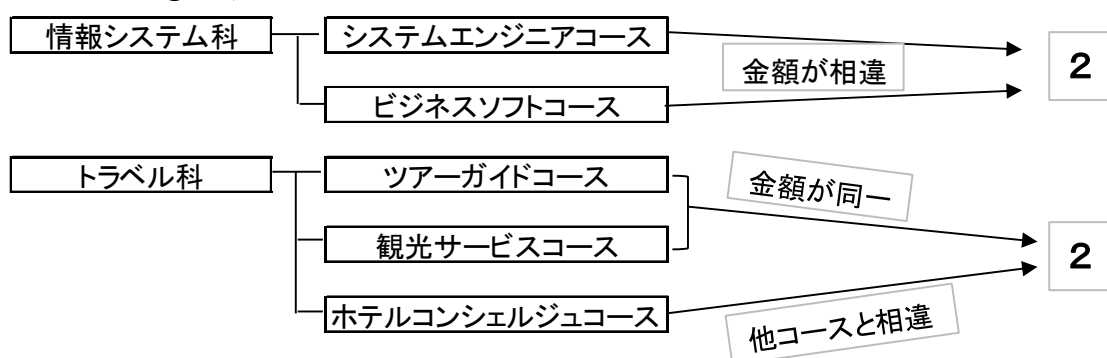
次は、フローチャートのパターン①～④の記入パターンを表しています。

記入パターン

◆パターン①の場合



◆パターン②の場合



◆パターン③と④の場合(昼間主は③の場合、夜間主は④の場合)

